

目次

はじめに

1

第1章 緩やかな回復が続く日本経済の現状

3

第1節 今次景気回復局面の特徴	6
1 今次景気回復局面の特徴	6
2 企業部門は再び好循環の起点に	7
3 四半世紀ぶりの人手不足感の高まり	24
4 デフレ脱却への展望	34
第2節 最近の消費動向の検証と消費喚起に向けた展望	41
1 個人消費の構造変化	41
2 多面的に消費を捉える取組	49
3 消費の伸びが弱い背景	53
第3節 財政金融政策の動向	68
1 長短金利操作付き量的・質的金融緩和と実体経済への波及	68
2 基礎的財政収支黒字化への取組	75
第4節 まとめ	85

第2章 働き方の変化と経済・国民生活への影響

87

第1節 働き方改革が求められる労働市場の課題	89
1 働き方改革により期待される経済面の効果	89
2 人口動態と労働需給	91
3 正社員・非正社員の賃金差の現状	94
4 長時間労働の現状	100
第2節 働き方改革が生産活動に及ぼす影響	107
1 働き方改革が生産活動に与え得る影響とその経路	107
2 正社員と非正社員の理由なき格差の是正と能力開発	108
3 長時間労働是正と柔軟な働き方の導入による生産性向上	112
4 非正社員の処遇改善とWLB施策がもたらす多様な労働参加	123

第3節 働き方改革が国民生活に与える影響	126
1 所得格差の縮小に向けた動き	127
2 多様な働き方と財・サービス需要の変化	131
第4節 働き方改革を進めるために	138
1 生産性向上に向けた投資とそれに合わせたマネジメント	139
2 多様な人材を活用するための取組	141
3 転職しても不利にならない柔軟な労働市場	144
4 労働法制やルール等の順守	146

第3章 技術革新への対応とその影響 147

第1節 技術革新が生産性に与える影響	150
1 イノベーションが生産性を向上させる類型	150
2 生産性の国際的なトレンド	151
3 スタートアップ企業の成長力と生産性の企業間分布の動向	156
4 ICT投資の動向	162
5 企業のグローバル化が生産性に与える影響	165
6 第4次産業革命における新規技術の導入の影響	170
第2節 技術革新が経済社会・国民生活に与える影響	181
1 技術革新によって新しく生まれる財・サービス	181
2 新しい技術革新の進展による経済効果	182
3 シェアリングエコノミーの拡大	187
4 Society 5.0での働き方のスマート化と新規技術の役割	190
5 技術革新やグローバル化が雇用に与える影響	194
第3節 まとめ	202

おわりに 205

付図・付表 209

目次

付注

221

参考文献一覧

247

長期経済統計

257

図表索引

図表索引-1

コラム

1-1	生え抜き正社員の賃金カーブは足下でやや改善	40
1-2	より正確な景気判断のための統計改善	53
1-3	2020年東京大会による経済効果	84
2-1	正社員の労働時間決定要因-パネルデータでの実証	106
2-2	労働時間と拘束時間	125
2-3	生活の質の評価	137